

親子部会 活動報告

テーマ :	*発達的气になる子どもと保護者が一緒に参加できる活動を企画・運営し、成長、子育てを支援する。 *発達的气になる子どもの支援にかかわる機関のネットワークを作り、お互いの支援力を高める。		
日時	場所	参加人数	内容
5月8日(月) 10:00~11:30	きたすま障害者相談 支援センター	4名	すまっこナビ作業チーム会議 ・すまっこナビ冊子の内容確認 ・追記内容等の修正作業
5月9日(火) 10:00~11:00	オンライン (ZOOM)	8名	臨時部会 ・2023年度の部会長決定方法について ・すまっこナビ説明会について
5月9日(火) 10:00~12:00	オンライン (ZOOM)	3名	すまっこナビ広報チーム会議 ・すまっこナビ説明会の案内チラシの見直し ・参加申込用の Google フォーム作成作業
5月19日(金) 10:00~11:30	須磨区役所	13名	第1回定例会 ・2023年度の部会長について ・すまっこナビ冊子の内容確認
6月28日(木) 10:00~11:30	須磨区役所	15名	第2回定例会 ・すまっこナビ説明会について ・講演会「不器用さを持つ子どもへの理解と支援」について
7月6日(木) 11:00~14:00	須磨区役所	29名	すまっこナビ説明会
9月14日(木) 10:30~12:00	須磨区役所	14名	第3回定例会 ・講演会(9/21) 打ち合わせ ・すまっこナビ説明会(7/6) 振り返り ・事業所交流会について
9月21日(木) 12:00~14:00	須磨区役所	47名	講演会「不器用さを持つ子どもへの理解と支援」 講師：松井学洋氏(関西学院大学助教授)
11月30日(木) 10:00~11:30	須磨区役所	9名	第1回事業所交流会 ・事業継続計画(BCP)について情報交換 ・次回の事業所交流会について ・その他 情報共有等
1月11日(木) 10:00~11:30	須磨区役所	10名	第4回定例会 ・事業所交流会(11/30)の報告 ・来年度の取り組みについて すまっこナビ説明会について等
3月6日(水) 10:00~12:00	須磨区役所	11名	第5回定例会 ・2023年度の振り返り ・2024年度の活動内容について ・2024年度のすまっこナビ説明会について 第2回事業所交流会 ・テーマ「利用児童に対する言動や対応について 日頃気になっていることを事業所間で共有、振り返ろう！」

(すまっこナビ説明会)

【成果】

- ・保護者からは、支援機関やサービスについて知ることができて良かった等の意見を聞くことができた。
- ・「ガイドヘルパーは通学・通所等の送迎ができないのか?」「放課後等デイサービスを利用した後、預かってもらえるサービスはあるのか?」等の質問があり、働く親が抱える課題を再確認できた。
- ・セルフプランや計画相談についての質問もあり、周知が必要であることがわかった。

【課題】

- ・すまっこナビ冊子をより多くの親御さんに知ってもらい、発達気になるお子さんを育てる親御さんをバックアップできる説明会にしていくため、個別相談ができるブースを設置する等の工夫が必要。
- ・行政や学校の説明を保護者が聞ける機会も作りたい。
- ・保育園や学校にも、児童発達支援や放課後等デイサービスを知ってもらう機会が必要。
- ・参加数が伸び悩んでおり、気軽に参加してもらえる工夫が必要。

(事業所交流会)

【成果】

- ・業務継続計画 (BCP) の作成にあたり、共通する疑問を出し合い、作成フォーマットの情報を共有できた。
- ・昨年度、議題にあがっていた内容「利用児童に対する言動や対応について日頃気になっていることを事業所間で共有・振り返ろう!」について、子どもが社会に出て困らないよう指導していると、その場面が「不適切」と判断されることがあり、そうならないための子どもへの関わり方や声掛けについて、具体的な話し合いや意見交換ができた。

【課題】

- ・職員が研修を受ける機会がなく、障害についての知識が足りない。
- ・親子部会や事業所交流会に参加できる事業所が少ないので、新規事業所にも積極的に声をかけていきたい。
- ・タイムリーに事業所が悩んでいることを共有し、意見交換する機会を作っていきたい。

(講演会：不器用さを持つ子どもへの理解と支援)

【成果】

- ・動作法研修に代わり、保護者の方も参加できる協調性発達運動障害についての講演会を実施できた。
- ・子どもとの具体的な関わり方がわかって良かった等、好評であった。

【課題】

- ・今後の講演会等の企画については、親子部会で出てきた課題をもとにテーマ・対象を検討していきたい。

【2024年度に向けて】

- ・すまっこナビ説明会は、より多くの保護者に参加してもらうため、児童発達支援、放課後等デイサービス等の福祉サービスについて個別に相談できる福祉フェアのスタイルを取り入れてみる。また、保育園や学校の先生にも福祉サービスについて知ってもらう機会になるよう、広報先を見直す。
- ・事業所交流会は、事業所同士の繋がりを作り、自分たちが働きやすくなるヒントを持ち帰れる内容（事例検討会や勉強会）を企画していく。